食品ロス削減（フードバンク）

令和5年9月作成
北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 フードバンクワーカーズ（旭川市）

倉庫の様子

スタッフの皆様

【組織の概要】

- 団体名：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 フードバンクワーカーズ
- 所在地：旭川市
- 代表者：渡邊　紅巨
- 活動人数：４名
- 活動開始時期：2016年
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品：農産物（米、じゃがいも、たまねぎ、季節の野菜）、レトルト食品、菓子など　※賞味期限が短いものは要相談
- 提供の条件：未開封、未使用のもの。賞味期限の残りが2か月程度のもの

◇【団体発足の経緯】

◆ 元々、旭川市の指定管理として児童センターの管理、運営を行っていた。長期休みの体重減少等の子どもの食事の問題を目の当たりにし、少しでも解決しようとこども食堂を実施した。そうした活動の中、コロナの影響でこども食堂を実施できない期間があり、こども食堂用に寄付された食品が余剰したため、フードバンク事業を始めた。

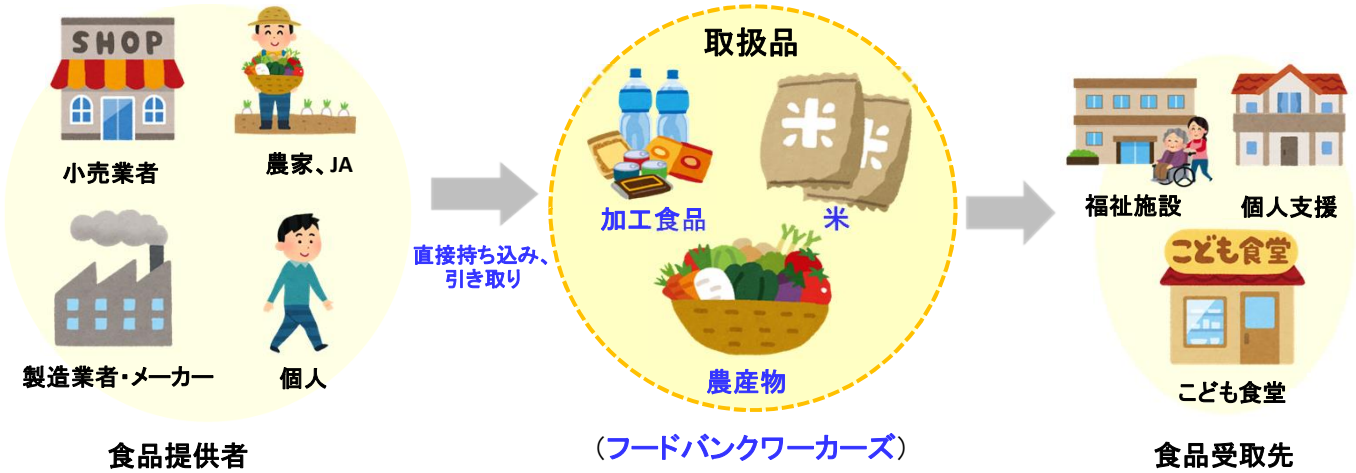
◇【活動の概要】

◆ 食品は提供先からの配送と直接引取りの両方で受け取っている。
◆ 社会福祉協議会や市役所からの紹介者やこども食堂に来た希望者へ食品を渡す。就労支援事業所の送迎時に食品を運送するなど工夫している。
◆ 食中毒防止講座を受講するなど、食品衛生管理を徹底している。

【取組む際に生じた課題と対応方法】

◆ 提供された食品をどう効率的に提供するかが課題である。こども食堂のための食料基地としても活用されており、近隣の他のこども食堂と連携して食料の融通を行っている。
◆ 食事や食品を無料で提供されることに抵抗感を示す子供がいる。こども食堂の手伝いなどの仕事を提供し、納得してもらう。
◆ 寄付された食品を仕分ける作業で手一杯になってしまっている。

フードバンクワーカーズの食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

◆ フードドライブの活用や、他団体のように登録制の食料品の定期便の検討など本当に必要な人に届けられるように受渡し先の工夫を続けていきたい。
◆ 法人内で運営している就労継続支援B型事業所との相互活用ももっと活発に行える体制を構築していきたい。